

# 風を感じる体験

# 陸上版ヨット、団塊に愛好者



主な風を感じるスポット

施設名	特徴
西千葉ブローカートクラブ(千葉・幕張) ☎043・256・6611	団塊世代から若者まで、初心者にも手ほどきしながら楽しむ。茨城・神栖市へ遠征も

## 風を感じる3鉄則

鉄則1 良風を読む

風の方向は帆のしわなどで読みとれる

鉄則2 涼風にさらす

心地よい風に身をさらすと、考え事も一緒に流れていく

鉄則3 そよ風を聞く

かすかな風は、風車や風鈴の音から

エアコンの利いた部屋にいるのもいいけれど、暑いからこそ流れる風を感じてみたい。この夏、風を意識する生活をしてみませんか。

ニュージラントで二〇〇〇年に誕生したスポーツ、ブローカート。車体に帆をつけた陸上版のヨットレースだ。写真。来年は日本で世界大会を開くという。風だけがエンジン代わり。環境に優しいと注目されている。

イントは帆のしわを見ること。風を読み取ると、たんにスピードが乗り、読み間違えると止まってしまう。乗り込むと風を受ける手応えを実感できる。すぐに慣れてコースのコーナーワークが楽しくなる。最近増えているのが団塊の世代の愛好者。年齢がハンディにならず、世界を目指す競技者もいるという。

JR銚子駅から車で五分の波崎漁港。大きな風車の下に集まったのは日本代表の競技者から、「乗れるかな」と笑う子供たちまで。「バランスと風向きの読みが勝負。すぐに走り出して、自分を動かす自然の力の強さに驚きますよ」と話すのは日本ブローカート協会(さいたま市)のナオコ・バンノート会長だ。

帆を引くひもとハンドルを駆使して車体を走らせる。「ポ